



12月の教室の様子



講師の辻さん



辰の絵馬を作ってます

豊岡公民館のパッチワーク教室は、9月～2月の毎月第2・4水曜日(全12回)、午前10時～正午に開催しています。毎回10名以上の出席があり、初心者と経験者が一緒に受講するため、初回は全員同じ作品作りに取り組み、2回目以降は各自のペースで、自分の作りたい物を作っていきます。講師の辻裕見子さんが、クリスマス柄の鍋つかみや、正月飾り、干支の絵馬など、季節に合わせた題材を用意することもあります。

参加者の皆さんは、積極的に質問をしたり、互いに相談したりしながら、和気あいあいとした楽しい雰囲気の中で活動しています。

参加者の大橋さん(今市)と高橋さん(土沢)にお聞きしました。Q 参加したきっかけを教えてください。A 教室に参加していた友人に誘われまして(大橋)。パッチワークの作品を見て自分でも作りたいと思い、広報紙で教室のことを知りまして(高橋)。Q 受講した感想を聞かせてください。A 教室の雰囲気良く、自宅で1人きりで作るよりずっと楽しいです。いろいろな情報交換もできます(大橋)。年代の異なる新しい友人ができて楽しいです(高橋)。参加者の笑顔が溢れるパッチワーク教室は、完成した作品を自分で使えるという実用性も魅力です。

## ⑩ パッチワーク教室(豊岡公民館)

参加者の声でつなぐ

# 公民館の教室・講座紹介

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL: 50-1200  
ホームページ http://www.khmoan.jp/

(1枚につき、5名様まで有効)

小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

## 展覧会 「出会いの美術Ⅲ やすらぎの時間」

美術鑑賞教育をテーマとした展覧会シリーズの第3弾として、「出会いの美術Ⅲ やすらぎの時間」展を開催します。

これは、所蔵作品の中から、複数の作家の多様な技法を用いた作品を選び出し、一堂に紹介することで、来館者が自分の好みに合った作品と出会えるよう、そして鑑賞の楽しさを体験できるように企画した展覧会です。

東日本大震災の発生から、まもなく1年が過ぎようとしている今日においてもなお、日常生活にさまざまな影響が出ています。美術館で過ごす絵画鑑賞のひとつときが、訪れた方の「やすらぎの時間」となることを願っています。

会 期：2月11日(土・祝)～4月1日(日)  
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)  
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)  
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料  
※( )内は市民割引券を利用した際の料金です。



小杉未醒「母子採果」  
1926(大正15)年頃  
小杉放菴記念日光美術館所蔵

小杉放菴記念日光美術館

## 歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎22-6217  
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)  
休館日 毎週月曜日、祝日



### ◆企画展紹介⑥ 老農関根矢作

日光市には地域のために尽くした人物が数多くいます。19世紀前半、度重なる飢饉の影響が尾を引き、日光の村々は荒廃していました。その復興に当たった人物として、二宮金次郎が有名です。しかし、金次郎が行う報徳仕法(財政再建策)に全く頼らず、大室村の名主として地域に根ざした独自の復興を行った関根矢作(1803～1896年)は、それほど知られていません。矢作は、10代のころから父の五右衛門とともに、大室用水の整備や大室村内の荒地の復旧を行うなど、村の復興に尽力しました。金次郎が日光に来たころには、すでに大室村では荒地がほとんどなくなっていたほどです。さらに矢作が最も精力的に取り組んだのが植林で、明治10(1877)年からの6年間に植えた樹木は、230余万本とも伝えられています。その

業績は当時の教科書にも取り上げられ、またその功績により藍綬褒章を受章しています。

今回の企画展では、その当時皇太子だった大正天皇から下賜された杖や、明治期の政治家・品川弥二郎直筆の書など、極めて貴重な資料を展示します。品川弥二郎と交流があり、用水整備や植林に尽くした老農関根矢作の業績を明らかにします。

知られざる郷土の偉人への関心が、高まることを期待します。



関根矢作肖像

◆催し◆  
◆企画展「老農関根矢作」  
3月25日(日)まで  
◆記念講演会「老農関根矢作」(情報なび32ページ)  
3月10日(土)午後1時30分～3時30分

## 市民文芸

川 柳 選者 山本 都留米

頼るコネ年々細くなつて行き

青木照雄

背を丸め小走り歩く寒い冬

植田義雄

スーパーの目玉商品焼芋屋

白土武夫

老いることないおひな様春語る

大堀 満

古いとは言わせぬ老の智慧袋

櫻沢あき子

挫けない勇気付けられ福寿草

篠原芳子

娘来る無口な父が鏡みる

塚原トモエ

俳 句 選者 伊藤 清

診察の待つ身は長し年つまる

渡辺ミチ子

雪の無垢踏み出す一歩また一歩

上山淑子

嘴を枝でぬぐひし寒鴉

池田三夫

癒えぬ身に師走の風が冷え冷えと

徳本英子

軒下に大根吊るす茅の家

櫻沢総一

ふうふうと風呂吹き召さる夫なりき

鈴木キヌ子

寒林の中に一本きわだちて

福田美代子

短 歌 選者 阿久津伸一

被災地の人らの苦勞いかばかり引揚者われも筵に寝たり

根立郷美

マヒの吾子の母に終着駅ののいのならせて輝け冬の星

関根眞佐子

斎場へ向かう車窓の家並にたわわな柚子の黄の色哀し

狐塚昭子

こちよき眠りにいりて目覚むれば朝餉の膳の調うており

北崎 君

贅沢な冬の日和を過ごしけり朝の散歩に夕べの読書

白土武夫

冬くれば並木の傍にリンク作り学童呼びし兄の面顔つ

大森トミ子

紅葉が終われば寂し中禅寺湖水に浮かぶボートは見かけず

櫻沢総一

### 作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください。

なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。

応募先及びくわしくは  
秘書広報課 広報広聴係

☎(21)5135 FAX(21)5109